

玄・蒼・点 - A (Darkness · Blue · Dot - A)

H91×137.9×8cm / oil on canvas / 2021

坪田政彦 展

会期：2021年6月8日（火）～6月19日（土）*6月13日（日）休み

時間：13:00-19:00 *最終日18:00迄

作家在廊予定日：6月8日（火）、9日（水）

H-art Beat Gallery | 101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F

この度、H-art Beat Gallery では、坪田政彦展を開催いたします。

1947年兵庫県姫路市に生まれた坪田政彦は、大阪芸術大学に入学し、1970年同大美術学科を卒業。その後母校で教鞭を取り、主に版画コースで後進の指導をしながら、一貫して絵画、ドローイング、版画等の作品制作を続け、2018年春に定年退官を迎えた。

大学卒業後の1971年、坪田は初めての個展を行う。その後関西を中心に活動し、1980年代頃までは主にドローイングや版画といった紙を支持体とした作品を中心に制作し、1976年には兵庫県立近代美術館で開催された「アート・ナウ'76」に選出されるなど、20代から高い評価を得てきた。

1980年代からは、刷ったインクを一度拭き取る、紙に規則的に小さな穴を空ける等、減産的手法とも言われる消去や不在を作品造形の一部として表現する手法を用い、版画や絵画を制作してきた。

坪田は一見して強い主張を作品に見せることはなく、また奇をてらったような作品を制作することは決してない。あくまでも絵画にとって最小限の要素である線、色、点による構成の作品が主体である。また、若き坪田が生きてきた時代は、日本の戦後高度成長期とほぼ同時代であり、美術界では日本のみならず、世界中で様々な概念を基にしたムーブメントが起り、少なからずそれらの影響を受けている筈であるが、そのようなムーブメントに過度に自身を寄り添わせることはなく、あくまでも自らが本来持っている歩む速度で仕事に取り組んでいることが作品から感じ取られる。

2018年、後進への指導の役目に一区切りをつけた坪田は、新たに大阪にアトリエを構え、今までと変わることなく日々作品制作を行なっている。制作に向かう姿は身体に静かな炎を灯しながらも、流れる雲のごとく泰然自若としているが、2019年の夏に大阪で開催された個展において新作を拝見した際には、作品に「清新さ」と、いわゆる「きれい」が増しており刮目させられる思いであった。70歳を超えて、再び春を迎えるかのような作品がそこには展覧されていたのである。米国の詩人サミュエル・ウルマンが70代に書いた“青春”についての有名な詩の如く、肉体が衰えるのは人間を含むあらゆる生物の宿命であるが、精神は衰えないどころか、若返ることが作品から滲み出ていることを感じさせてくれたのである。

坪田本人と様々な会話を交わす中で、創作への姿勢と世の中との関わり方は今まで通り変わらずにあることは想像に難くないが、これから新たに生み出される作品に今まで以上に注目していきたい作家である。

この機会に是非ご来廊ご高覧頂きますようご案内申し上げます。

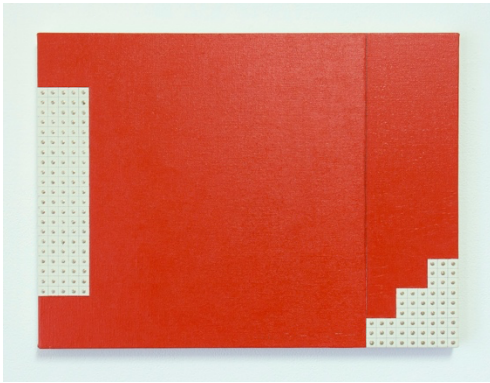
略歴：

- 1947年 兵庫県姫路市生まれ
1970年 大阪芸術大学美術学科卒業
1976年 第5回ブラッドフォード国際版画ビエンナーレ（イギリス）
1977年 第12回リュブリアナ国際版画ビエンナーレ（ユーゴスラビア）
1993年 菅原二郎・坪田政彦2人展（ギャラリーブローマンス／オランダ）
1994年 クラコウ国際版画トリエンナーレ（ポーランド）
1999年 現代版画・21人の方向（国立国際美術館／大阪）
2004年 現代版画の潮流展（町田市立国際版画美術館／東京）
2005年 ソウル国際版画写真アートフェア・日本の現代版画特別展（韓国）
2008年 点と面の詩情・上前・山中・坪田展（和歌山県立美術館）
2010年 坪田政彦・内田鋼一・坪田昌之3人展（中野邸美術館／新潟）
2017年 コンテンポラリージャパニーズプリント展（アメリカ）
2018年 個展（H-art Beat Gallery／東京）
NON STOP GENERATION（スペイン） 個展・グループ展多数。

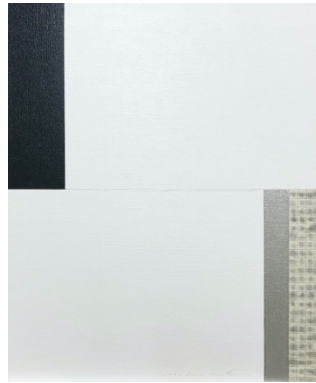
パブリックコレクション：

国立国際美術館（大阪）、大阪府立現代美術センター（大阪）和歌山県立美術館（和歌山）、ボストンファインアート美術館、クラコウ市立美術館（ポーランド）、エラスマ大学（オランダ）、ハーバード大学（アメリカ）、クモレナ市立美術館（イタリア）シンシナティー美術館（アメリカ）、ヒルトン名古屋 エグゼクティブフロア（名古屋）、他多数

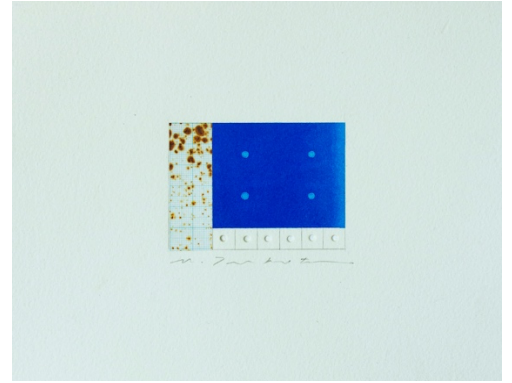
出品予定作品：



彩・点・彩 - F / H31.8×41cm /
oil on canvas / 2020



関係 - 描・点 - V / H45.5×38cm /
oil on canvas / 2021



蒼・点 - G / H20×24cm / drawing / 2021

<新型コロナ感染拡大防止対策について>

- ・ギャラリー入口に設置しておりますアルコール除菌スプレーをご使用の上、マスクを着用されてのご観覧をお願い致します。
- ・ギャラリー空間の換気を随時行い、スタッフの手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク着用を徹底し、ご対応させていただきます。

皆さまには何かとご不便をお掛けいたしますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

尚、会期中でのご来廊が難しい方は、作家や作品についてのメールでのお問合せもお気軽にご相談下さい。

H-art Beat Gallery

101-0051 東京都千代田区神田神保町2-38-10 多幸ビル2F | 2-38-20 Tako Bldg. 2F Kanda-Jimbocho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0051 Japan

Tel. & Fax. : 81-3-6256-8986 e-mail : masaru_nishiyama@hartbeat.co.jp URL: <http://hartbeat.co.jp>